

【北海道新聞(6月19日号)に掲載されました】

6月11日(月)、平成30年度韓国短期留学生8名が決定し、羽幌国際交流協会蒔田代表から、一人一人に決定通知書が手渡されました。

応募に際し、生徒は志望理由を作文にして提出し、その後蒔田代表との面接で、それぞれの思いを述べました。協会では役員会を開きこれらを総合的に判断して、8月28日から9月3日までの6泊7日、韓国へ留学する生徒を選出しました。

今後は、パスポート申請や羽幌町役場との事務手続きを行い、韓国語などの事前学習に取り組み準備を進めていく予定です。

羽幌高生 韓国短期留学へ

羽幌国際交流協会が8人派遣

「昨年中止の分、有意義に」



8月の韓国短期留学への派遣が決まった
羽幌高生たち

【羽幌】羽幌国際交流協会(蒔田光子代表)は、8月に韓国へ短期留学に派遣する羽幌高の生徒8人を決め、同校で11日、決定通知書が手渡された。

留学は8月28日～9月3

日(6泊7日)の日程で、ソウル近郊の富川市にある素明女子高と交流する。滞在中は現地でホームステイし、渡航費は町の人づくり事業補助金を活用する。同協会によると、募集定

員6～8人に対して1年生2人、2年生4人、3年生2人の計8人が応募。作文と面接で全員の派遣が決まった。蒔田代表は「韓国に行きたいという皆さんの熱意が伝わってきた。健康管理にも留意し、有意義な短期留学にしてほしい」とエールを送った。

昨年は北朝鮮の核実験や弾道ミサイル発射で朝鮮半島情勢が緊迫化したため中止を余儀なくされており、生徒を代表し、3年生の山岡真優さん(18)が去年、行けなかった分、しっかり準備したいと抱負を語った。この交流事業は1999年から両校がほぼ1年おきに相互訪問する形で続いている。(長谷川賢)